

新たな情報通信技術戦略の策定に関する意見

1. 個人／団体の別：個人

2. 氏名／団体名：非公開

3. 連絡先：非公開

4. ご意見：

・（行政保有する情報の公開について）

これまでも行政情報の公開が行われてきていますが、次のような問題点があります。

－各担当部局毎に別のサイトで公開されていることが多く、どこにどのような情報が存在するのかがわかりにくくなっています。とくに約 1,800 存在する市町村の情報をまとめて集めようとする、大変な手間がかかります。（市町村毎に公開されている情報の内容、形式などもバラバラです。）

ワンストップで各種の情報にアクセスできるようにしていただくと情報収集の手間が大幅に簡略化されます。

－情報が更新されると古い情報は破棄されてしまうことが多く、昔の情報の入手が困難になっています。

過去の情報についても、ワンストップでアクセスできるようになることを希望します。

－位置に関する情報が多数存在します（交通渋滞や道路工事情報、災害情報等）が、位置を特定できる情報が付加されていない場合があります、地図に落とすことが困難になっています。

必ずしも緯度・経度、座標が必要というわけではなく、住所あるいは路線名などがきちんと記載されているだけでも場所の特定が容易になります。

－文書や図面が pdf で公開されていることが多いようですが、pdf では再利用が難しい場合があります。pdf に対してセキュリティの設定がなされている場合もあり、再利用をさらに困難にしています。

したがって、できるだけ再利用が容易なテキスト、CSV 形式などでの公開を希望します。（エクセルなど特定のソフトに依存するファイル形式もあまり好ましいとはいえません。）

・（高齢者の社会参画について）

－バリアフリーマップ、車いすで利用できるトイレなどの情報はこれまで NPO 等が中心になって収集してきていますが、全国レベルでこうした情報を収集・公開し、更新していくには行政の関与が欠かせないと思います。

・（人やモノの移動のグリーン化）

－資料3「具体的な取組(例)」をみると、施策が掲げられていますが、自動車につい

での対策が主体であるように見受けられます。自動車対策に加えて、公共交通についても積極的な利用促進をはかる必要があると思います。

とくに、地方部では公共交通の衰退が著しく、自動車がないと外出もままならないような状況になってきており、高齢者等の社会参画を推進する上でも公共交通のてこ入れが必要だと思います。

以上